

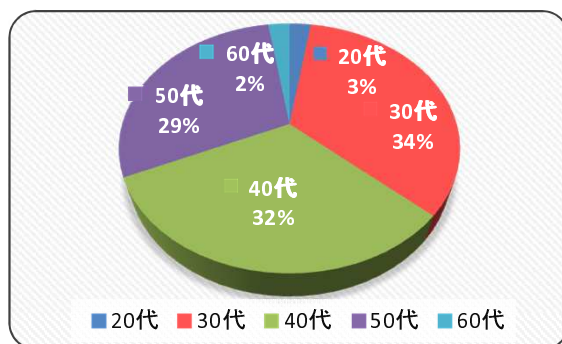
平成28年度 第4回 緩和ケアスキルアップ研修会 アンケート集計結果

H29.2.8(水) 荘内病院 講堂 18:30~20:00

- ・ O・A : 次年度以降の庄内プロジェクトについて
- ・ 講 師 : 鶴岡市立荘内病院 緩和ケアサポートセンターセンター長 鈴木 聡先生
- ・ 講 演 : がん患者さんの口腔ケア
- ・ 講 師 : 国立大学法人東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 中村 奈都美氏
- ・ 参 加 : 51名 ・アンケート協力者 : 41名 (80.4%)

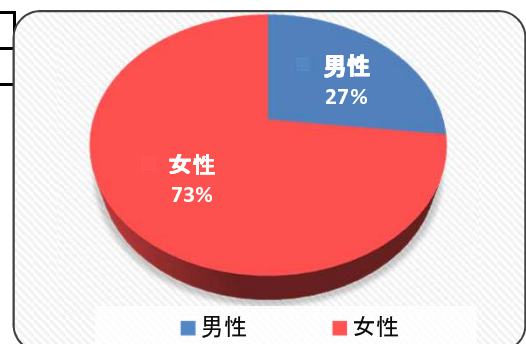
(1) 年齢

20代	1
30代	14
40代	18
50代	12
60代	1



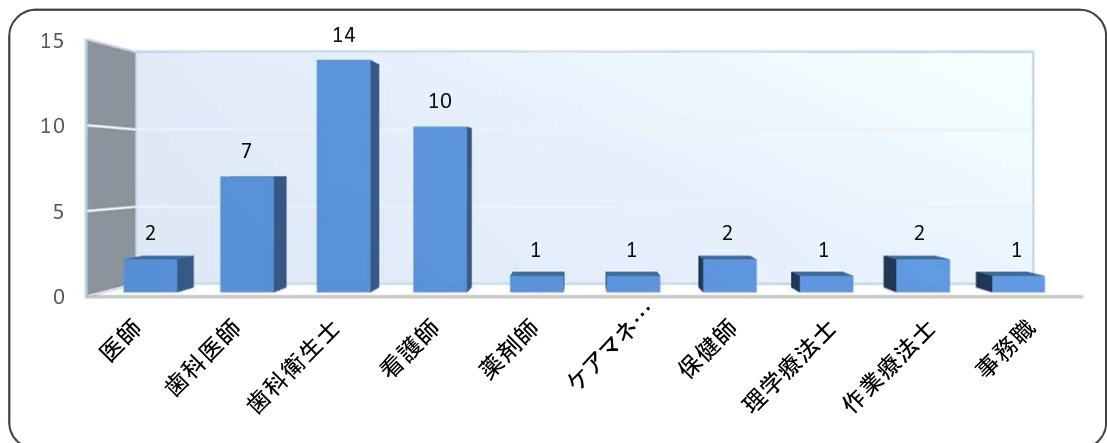
(2) 性別

男性	11
女性	30



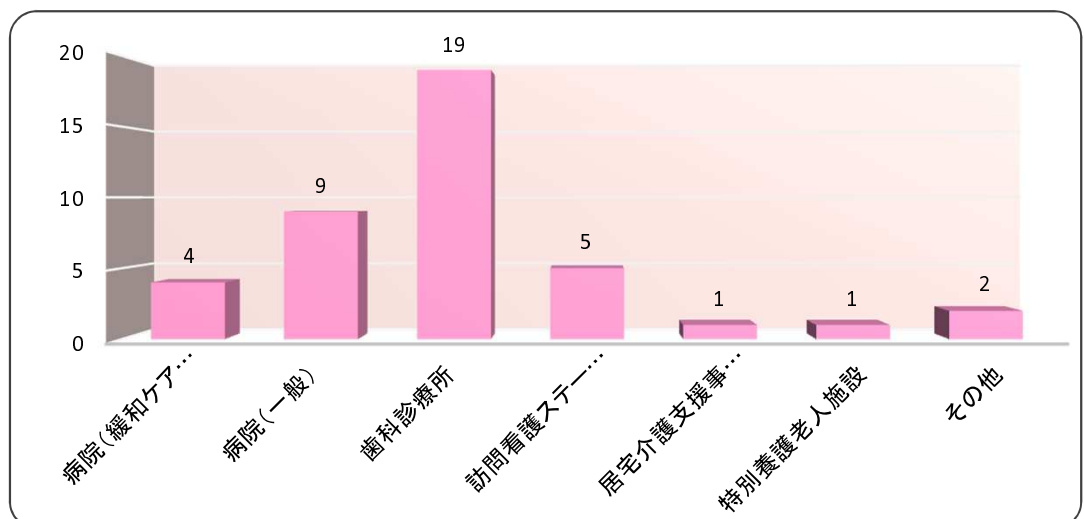
(3) 職種

医師	2
歯科医師	7
歯科衛生士	14
看護師	10
ケアマネジャー	1
保健師	2
薬剤師	1
理学療法士	1
作業療法士	2
事務職	1

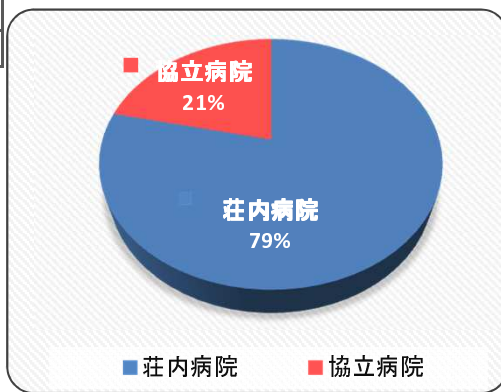


(4) 勤務場所

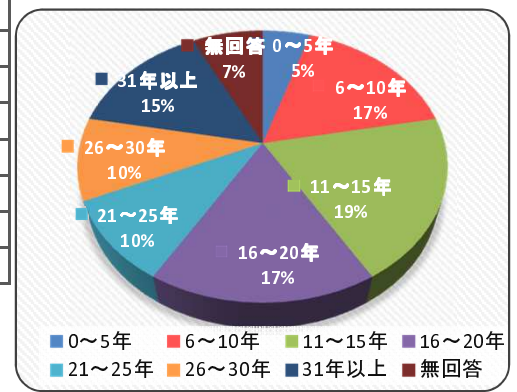
病院(緩和ケアチーム)	4
病院(一般)	9
歯科診療所	19
訪問看護ステーション	5
居宅介護支援事業所	1
特別養護老人施設	1
その他	2



荘内病院	11
協立病院	3

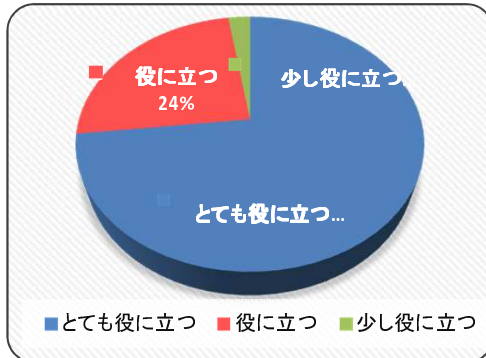


0～5年	2
6～10年	7
11～15年	8
16～20年	7
21～25年	4
26～30年	4
31年以上	6
無回答	3



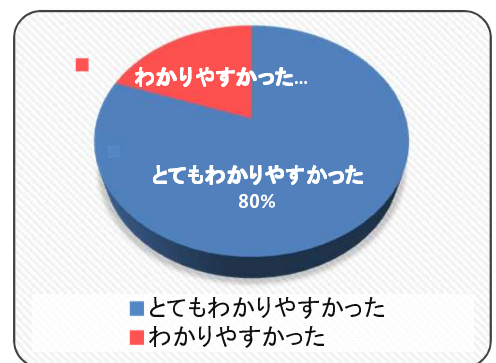
(7) 今後の役立ちについて

とても役に立つ	30
役に立つ	10
少し役に立つ	1



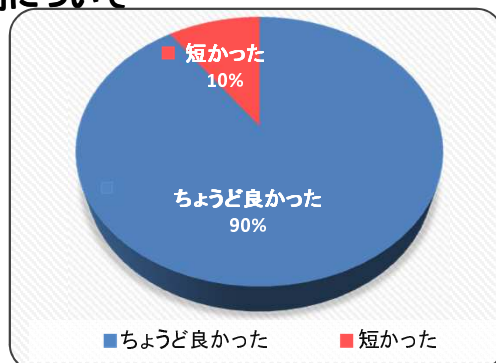
(8) 内容について

とてもわかりやすかった	33
わかりやすかった	8



(9) 講義の時間について

ちょうど良かった	37
短かった	4



<自由記載>

- 化学療法や癌の手術前後の口腔ケアや歯科治療を実施していますが、中村先生の症例にあった様な重度の症例には出会ったことがなく、今後、この様な症例が出た時に役立てていきたいと思いました。看護師の方々の連携は、日々難しいと感じますが、自分も誠意ある対応を心がけ、少しずつ距離が縮まるのを感じる時があります。中村先生のお話にとっても共感しました。(歯科診療所 歯科衛生士)
- 具体的な話、写真、動画等もあり分かりやすかったです。連携の重要性についても改めて感じました。(訪問看護ST 作業療法士)
- がん治療と口腔ケアの関係、ケアの重要性がとても理解できました。歯科、医科、看護の連携の仕組みが地域に必要であると感じました。(保健所 保健師)
- 実践に基づいた理論で、よく理解できました。(病院 看護師)
- 認知の方の口腔ケア等が難しいです。また、障害の方の指導は中々進行が難しいです。講演のテーマにいただけたらいいかなと思いました。(歯科診療所 歯科衛生士)
- 現在、周術期の患者様の口腔ケア、定期クリーニングに携わっている。コミュニケーションはとても大切で、在宅療養中の患者様自身でできるケアや粘膜炎が表れた時の対応法等、もっと多く伝えていきたいと思う。(病院 歯科衛生士)

それぞれの専門性について、地域医療において十分に活用されていないのかなど、改めて考えさせられました。多職種がお互いの専門性について理解しようとする努力と、その活用についてのシステム作りが必要だと感じました。地域にとって大切なお話を伺うことができたと思います。ありがとうございます。(訪問看護ST 作業療法士)

粘膜炎が重度に出現すると、キシロカイン含の含嗽剤、洗口液でも、口に含むことすら困難で、疼痛コントロールに頼るしかない時期があって、無力感をいただくことがあります。キシロカイン(表面麻酔的な)薬剤の取り扱いについては、ケアの介入時にDHが個人の意思ですぐ使える訳ではないので、その辺はどのようにしているのか(歯科医師)の指示のもとでやっているのか、現状を知りたいなと思います。(病院 歯科衛生士)

当院のスタッフは全員参加でしたが、18時30分開始では開業医のスタッフの参加は難しいかもしれません。今回の内容は歯科医師よりも歯科衛生士に受講してほしい内容でしたので、より参加しやすくするために、開始時間を考えていただきたい。(歯科診療所 歯科医師)

がん治療に関して、口腔ケアの重要性を改めて学びました。動画によって具体的に知ることができ良かったです。(保健師)

治療の目的とケアによる効果をチームで共有していないとより効果がでないことが分かりました。患者さんの立場に立ってどうしてほしいか、何に苦しんでいるか考えることで、「どうですか?」の声かけができ、出された声に対処していけるのだということがよく分かりました。中村先生のがんばりやチャレンジが伝わるとも良い講演でした。阿部先生のコーディネート力にも感心しました。(病院 事務職)

コミュニケーションの大切さ、Nadirの時の歯科口腔ケアの重要性を学ぶことができ良かった。(病院PCT 医師)

実際、歯科衛生士の方のケアの方法や、写真、動画などを見せていただき、とても勉強になりました。訪問看護を行う中で、相談できる歯科医院や衛生士の方が身近にいととても安心します。私たちがどこに相談したらいいか、なにかツール等があればいいなと思いました。(訪問看護ST 看護師)

がん治療から終末期まで、口腔ケアをしながらPTIにどのように関わっておられるか、よくわかりました。Nsの強みは継続サポートという言葉が心にしみました。歯科の先生とも協力しながら、よいケアができるように関わっていききたいと思います。(病院PCT 看護師)

改めてがん治療の基本が学べて良かった。(歯科診療所 歯科衛生士)



ご協力ありがとうございました

南庄内緩和ケア推進協議会 医療者教育WG